
私が初めて作並温泉を訪れたのは、今から半世紀以上も前、確か私が大学四年生に進級した昭和三十四年秋頃の事で御座います。

私は大学入学と同時に他県から仙台に参りまして、某電力会社が運営する学寮で生活しておったので御座います。私は工学部生で御座いましたが、当時は卒業時の就職活動は殆ど必要なく、毎日が勉強一筋の恵まれた時代で御座いました。そんな生活の中で、私は一つだけ夢があつたので御座います。

それは、仙台に居る間に、敬愛する俳人芭蕉翁が訪れたという立石寺（山寺）を尋ねることで御座いました。実は高校時代に、私は芭蕉翁の紀行文である『奥の細道』に親しんでおったので御座います。

芭蕉翁が弟子の曾良を伴って旅をした時代は、殆ど徒歩だけで移動したこと
は人々の知る処で御座いますが、私も芭蕉翁を見習って仙台から山形へは徒歩
で出向くことを考えたので御座います。しかし、一日で山寺に到達する自信が
なく、途中で一泊することに致したので御座います。幸い、某電力会社の運営
する保養所が作並温泉の外れに在り、寮生でも其処を利用出来ることが分かり
ましたので初日は作並を目指して仙台を出立致したので御座います。私が作並
温泉を初めて知ったのは実にその当方で御座いました。

市内元寺小路に在った学生寮を何時頃に発つたのか、今では思い出せません
が、私が作並に入った時は日がとっぷりと暮れて、保養所の入り口を示す看板
照明が道端で明るく灯っておったので御座います。その時期は保養所が閑散と
しておつて、私は風呂を独り占めして温泉浴を楽しんだので御座います。

縁があつて私は現在仙台に住んでおりますので、作並温泉を時々訪ねるので
御座いますが、残念ながら、学生の頃に私が一泊した某電力会社の保養所は既
になく、道端の風景も大きく変わり、保養所があつた場所すら私は特定できず
におる有様で御座います。